

第3

ともに学ぶ私たちの 生涯学習—府民のために—

1 未来を担う青少年をはぐくむ生涯学習

未来を担う青少年をはぐくむために、学校、家庭、地域社会で、青少年が生涯にわたって自ら学ぶことのできる学習環境をつくっていきましょう。

21世紀に生きる青少年の健全な発達を図るためには、家庭、地域社会における様々な生活体験、活動体験が重要であるため、学校と手を携えて、家庭、地域社会は、それぞれの果たす役割を明らかにし、互いの連携を深めながら教育力を高めることが重要です。

そのため、まず学校においては、生涯にわたって学ぶことができる基礎・基本の習得と、子供たちが自ら進んで学ぼうとする意欲や態度を育成することが大切です。

家庭においては、親子の触れ合いや家族とのかかわりの中で、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、様々な生活体験を通して、思いやりや他人に対するやさしさを育てていくことは、人間として大きく成長していく上で欠かせないことです。

また、地域社会においては、家庭や学校で得にくい社会体験や活動体験を通して、自立心や社会性を育てることが大切であり、青少年が地域の活動を通して成長していくことは、地域社会の発展にとっても大切です。特に、都市と農山漁村との交流などの体験は、豊かな人間形成に大きな役割を果たすものであり、こうした交流を深めることも重要です。

週休2日制の普及や学校週5日制の実施は、子どもが家庭で家族との触れ合いを深めたり、地域社会における多様な体験や活動に参加する機会を増やす契機となるものです。そのため家庭や地域社会の果たす役割が大きくなってきます。

私たちは、家庭や地域社会において、青少年が主体的に活動体験を積み重ね、豊かな人格形成を図ることのできる学習環境をともにつくっていきましょう。



2 生涯スポーツ・健康づくり

人生を楽しく生きていくために、スポーツの素晴らしさを味わい、健康づくりに努め、生きがいのある、より豊かな生活を創造していきましょう。

食糧事情の変化や医学の発達により、私たちの寿命は著しく延び、人生80年時代を充実した楽しいものにするためには、何よりも健康であることが大切です。

私たちは、ともすると運動不足に陥りがちですが、最近のジョギングなどの手軽にできるスポーツの広がりの中で、多くの人々がスポーツに親しむことが可能となり、性別、世代を問わず、自分の体力や能力に応じたスポーツの楽しみ方ができるようになってきています。

また、週休2日制の普及により、生活の形態や家族の条件に合わせて、スポーツを楽しむ人も増えていきます。

競技力の向上を目指すスポーツの振興ももちろん大切ですが、私たちは生涯にわたって自分の体力等に応じたスポーツを通して、健康や生きがいづくりに取り組んでいきましょう。

また、健康づくりは食事や運動など、日常生活習慣と深く関係しています。新しい食文化の創造や正しい食生活を心がけ、運動に親しむなどの心身の充実を図っていきましょう。

3 新しい文化を創造する心豊かな生涯学習

互いに身近にある生涯学習の機会等を活用して、芸術等の趣味や創作活動に積極的に参加し、より心豊かで充実した生きがいのある生活を創造していきましょう。

地域社会においては、様々な文化活動が自主的に展開されていますが、これらはどれも重要な生涯学習の一つです。

京都府では、茶道、華道、俳句、短歌、絵画をはじめ様々な生活に根ざした文化・芸術等の趣味や創作活動が自主的に展開されています。私たちは、それぞれの自己実現や生活の質的向上に向けて優れた文化・芸術に接していきましょう。

また、各地域には、歴史と風土にはぐくまれた文化財や祭り、行事・歳事などの伝統文化が多数ありますが、これらの保存・伝承に努めるとともに、これらを活かし、趣味や創作活動を通じて新しい文化の創造を目指していきましょう。

一方、私たちには京都府や市町村が開設する学級や講座、大学等や高等学校の公開講座・開放講座、社会通信教育、民間教育事業など生涯にわたって学習できる機会はたくさんあります。テレビやラジオでは教育、教養番組も数多く放送されており、自分が学習したい水準や方法に合わせてうまく利用し、自己の発見・創造を目指しましょう。

家庭菜園などの趣味の農作業体験は、自然と親しみ、生産物を創造するという喜びが得られるものであり、日常生活の中で積極的に体験していきましょう。